

## 平成31年度放射線の健康影響に係る研究調査事業採択課題

### テーマ1 放射線健康管理に資する線量評価に関する研究

課題名	主任研究者	所属機関
避難行動データの多角的解析に基づく福島原発事故初期の内部被ばく線量推計	栗原 治	量子科学技術 研究開発機構
大気拡散シミュレーションによる時間空間放射能データベースを用いた避難行動パターン毎の初期線量評価	鈴木 元	国際医療福祉 大学
乳歯を用いた福島県在住小児の被ばく線量評価事業	佐々木 啓一	東北大学
被ばく線量に影響を及ぼす住家内外の要因に関わる研究	吉田 浩子	東北大学

### テーマ2 事故に係る心身への健康影響及びそのメカニズムに関する研究

課題名	主任研究者	所属機関
動物実験を用いた慢性的被曝量内部被ばくによる突然変異と発がんの非相関性のメカニズム解明	中島 裕夫	大阪大学
事故後に発見された小児若年者甲状腺疾患のメカニズムに関する研究	鈴木 眞一	福島県立 医科大学
不溶性セシウム粒子による生物影響の解明に向けた分野横断的共同研究	鈴木 正敏	東北大学
動物モデルと数理モデルを用いた放射線発がん線量率効果が生じるメカニズムの解明	今岡 達彦	量子科学技術 研究開発機構

### テーマ3 リスクコミュニケーション及び情報発信に関する研究

課題名	主任研究者	所属機関
放射線イメージ表現を用いた科学的情報発信の有効性	竹西 阿古	兵庫教育大学
3.11以降の放射線関連情報のtwitterによる放散研究を基にSNS時代に即した、大規模災害時に科学的事実に基づいた情報をリアルタイムに発信していく方策の研究	宇野 賀津子	ルイ・パスト ール医学研 究センター
AIチャットポットを活用した自動応答被ばく相談支援システムによる効果的な情報の発信と収集	藤淵 俊王	九州大学
帰還住民を持続的に支援可能なアプリケーションの開発	谷川 功一	福島県立 医科大学
被ばく理解のための、個人被ばく線量を簡易推定してそのデータを管理するアプリの開発、および得られたデータの分析とその結果の公表	高橋 剛	新潟大学